



だいや川通信

今市の水を守る市民の会

第27号

2009年6月10日(水)

今市の水を守る市民の会 第2回総会報告

「今市の水を守る市民の会」第2回総会が、4月26日(日)日光市市民活動支援センターにて開催されました。本年2月、当会代表であられた福田健彦氏が逝去されたため、会として今後どのような方向で活動を進めていくかを定める必要がありました。

当日は事務局長(森 通暁)挨拶に続き、議長(手塚 郁夫)により議事が進行。活動報告(森)、会計報告(須佐 佳子)一次ページ参照の後、①会則改定 ②役員改定 について意見交換が行われ、なごやかな雰囲気のもと出席者(欠席者は委任)総意により、すべての議案が承認されました。

2000年(平成12年)4月に発足した当会ですが、その第1回総会では「大谷川取水及び思川開発事業中止に向けての活動を行う」とする大きな目的が掲示されていました。それらの活動をするために専門部(研究活動)と普及部(広報活動)の2部門が設置され、大谷川扇状地の地下水の特性を学ぶ講演会や取水反対の署名活動やシール作成など、それぞれが力を出し合って活動を行ってきました。その後、今市市における大谷川取水は正式に中止決定となり、当初の目的は達成されました。

今回改訂された会則では、活動目的が「今市(日光)その周辺地域において、市民や子どもたちが水に親しむための活動を行う」と決まり、専門部・普及部は廃止されました。なお、万が一、大谷川取水問題が再浮上してきた際には速やかに対処できる体制を整えることとしました。そして福田前代表の志を深く継承される3名の方を顧問にお迎えし、大いなるお力を与えていただくこととしました。新役員は次のとおり承認されました。

代表: 塚崎 庸子

副代表: 毛塚 博子

事務局長: 森 通暁

会計: 須佐 佳子、手塚 郁子

会計監査: 中島 守

顧問: 福田 一男、吉原 徳、渡辺 護 (五十音順)

日光連山から集められた水が広く潤う大谷川扇状地。この水は市民の宝です。この大切さをさまざまな機会を通してこれからも強く伝えていく会にしていきたいと思えます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。(塚崎 庸子)

目次:

第2回総会報告	1
福田健彦さんの 当会関連資料	2
副代表就任 あいさつ 会計報告	2
一期一会を思う時...	3
ハンベードブロック	3
川むしたんけん隊 報告	4

お知らせ

次回の定例会

6月24日(水)

午後1時より

日光市民活動支援センター

会則

名称:今市の水を守る市民の会

目的:今市(日光市)およびその周辺地域において、市民や子どもたちが水に親しむための活動を行う。

活動:目的を達成するために、以下の活動を行う。

子どもたちの未来のために、清らかな水を残すための活動

地域の里山、里川に親しむための活動

自然環境に関わる活動

その他、大谷川取水問題への対応等、会が必要とする活動

会員:会の目的に賛同し、規定の会費を支払った個人および団体とする。

事務局:下記に置く。

〒321-1102 栃木県日光市板橋 1732-1 森 方 電話 0288-27-2183

構成:次の組織構成をもつ。 代表(1名)、副代表(1名)、事務局長(1名)、会計(2名)、会計監査(1名)

運営:会員が自由に発言できることを第一義とし、定例の会議の決定に基づいて行う。

運営費:会費および寄付金、その他の収入をもってあてる。

年会費1口 個人会員 1,000円(ひとり1口以上)、団体会員 3,000円(一団体1口以上)

会計年度:4月より翌年3月までとする。

付則:この会則は平成12年4月9日から実施する。改訂 平成21年4月26日

福田健彦さんの当会関連資料について

去る5月2日、前代表福田健彦さんのご息の新(あらた)様より、健彦さんが残された当会に関連した資料を見て欲しいとのご連絡をいただきました。そこで翌日、小代のご自宅にお伺いして茶箱(中)1・(小)1の計2箱の資料をいただいてまいりました。内容に関してはあけてみた程度で全部の確認はできていませんが、とりあえずわかったことをご報告いたしておきます。

内容を開けた時の形状から大きく分けて見ますと、以下のとおりとなります。

- ①書籍7冊
- ②書籍・論文コピー
- ③公団等、開発側発行の報告書類
- ④その他ファイル、紙袋など

このうち①は、高橋裕編『水の話』(I、II、III)(技報堂出版)、山崎不二夫編『明日の利根川』(農文協)手塚雅身編『今市地震一資料編・研究編』宇都宮大学教育学部紀要『今市地方の水理、地質、地震関連研究論文集』などです。

②は山本荘毅・他『扇状地の水質環一環境システム論序説』(1971・古今書院)宮岡邦任『今市扇状地における水文地質と地下流動系』(地理学評論 68A-5、285-302 1995)、その他農業用水・地震関連の論文コピーなどがあります。

③としては公団発行の『思川開発事業』(平成10年2月)建設省関東地方建設局『利根川水系思川開発事業環境影響評価準備書』(抜粋)(平成5年3月)など。

④が今回の資料の大部分ですが、たくさんファイル紙袋の山ですので、まだ全く手をつけていません。まずは時間をいただいて少しずつ年代順位分けてその上で内容的に検討するしかありません。これらの中には健彦さんが今市市役所に勤務している当時のものも含まれているようですのでおそらく古いものほど貴重なものかもしれません。とりあえず年代で分けて行ってみます。このうち東大芦ダムや流域の関連の資料はほと

んどは私たちが所有しているものと重複するもので、そうしたものは適宜処分させていただきつくりです。

以上、まことに不十分な内容で恐縮ですが、次号にて④の内容など若干でもご報告させていただきます。なお、この資料に関して関心のある方や整理保存の仕方に関してご意見のある方は事務局・森までご連絡いただければ幸いです。末尾になりましたが、貴重な資料をご提供いただきました福田新様のご好意に改めて感謝申し上げます。(森)

副代表就任あいさつ

皆様、はじめまして(の方が多いかと思います...)

今年度、副代表としてお世話になります、毛塚博子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

住んでいる所は、日光三大名瀑「裏見の滝」のすぐ近くです。「今市の水を守る市民の会」との関わりは、さかのぼる所、東大芦のダム問題からになります。とは言っても、数回楽しそうなどころだけ参加していただけていますが。その後はコンサートやゆったりウォークなど、この会ならではの企画に楽しく参加させて頂きました。ゆったりした心が落ち着く雰囲気がとても良かったです。それが今回、副代表なんて怖れ多くも...とまず思いました。でも、今までお世話になりっぱなしだし、代表の塚崎さんを始め皆さんと一緒に活動を続けていきたいと思い、せん越ながら努めさせていただきます。と、言うことで何も分かりませんがよろしくお願い致します。

私は川の上流に住んでいるので、それなりの責任はあるのだと思います。以前、今市の湧水は日光からどのくらいの年月を経て湧き出るのでかと水文学の先生に聞いたことがあります。4年くらいとのことでした(もちろんそれ以上の場合もあるそうです)。今年は雪が少なかったのでしょうか。水の大きな流れを考えると、自然の偉大さを感じます。(毛塚博子)

今市の水を守る市民の会会計報告

2007年4月1日～2009年3月31日(2年間分)

収入の部

項目	金額	備考
会費収入	27,000	
川むしたんけん隊 参加費	1,800	(2006年度分)
寄付金	30,040	
預金利子	686	
2006年繰越金	275,172	
合計	334,698	

支出の部

項目	金額	備考
通信費	30,850	切手・ハガキ
印刷・コピー費	6,496	通信印刷
紙・封筒	1,714	
ネット管理費	17,850	ホームページ
ロッカー使用料	1,200	支援センター
お見舞・香典	40,000	
合計	98,110	

2008年度差引残高

236,588

2009年度会計に繰り越します

一期一会を思う時...

山に川に、俺のアソビの中で、
いつも身近かにいるナイフやナタ...
ウドやフキなどを切り取る時。
小枝をけずり、はしやスポンを
作る時。

ナイフやナタは かかせない。
このナイフやナタの作者は、今は七き
福田 稔さんだ。
高校の美術教師だった、稔先生の
作るナイフには、独特の温かみが
あり、俺はいつしかファンになっていた。
冬山で若い頃？先生は凍傷になって
足の指を失う程の山屋だったと云う。



絵や書道でも素晴らしい才能を発揮
していた。(当会報のタイトル、大谷川ステッカー、
大芦川CDのタイトル文字は氏の作)
良き相談相手だった先生が逝って
早一年が過ぎ... 淋しさは慕るばかり
である。何気なくおじゃまして、山の話、
川の話、ナイフの話... 楽しかった...
その1回1回の日々が、今は大事な思い出。(隅)

ドブロク

前号の小笠原探検記に続く、中島さんからの寄稿。取扱注意の発酵エッセイ！

私はそもそも酒は飲まない方、つまりゲコに近い非常に生真面目に人生を過ごしてきた。それがいいとか悪いとかは別に、ごくフツーに歳を重ねてきたつもりである。両親も飲まないと聞いている。

しかし人生山あり谷あり、何が起こるか分からないから面白い！その私が「お酒造り」に挑戦したのだ。

人生を遡る事ウン10年前、まさに成田闘争真っ盛りの頃「前田俊彦著 ドブロクをつくろう」を手にした。これがまた面白い。司馬遼太郎も読んでいたかどうかは分からないが、もし読んでいたら益々長州に対する語気が強まった？かも知れない。何故って？オラもよくわっかんねえ〜けど、ま〜そんなもんだ。

私達の祖父母達が生まれた時代はまさに富国強兵の明治時代。何時の時代も弱者が泣きをみる。富国は字の如く国が富むのであるが、その富は何処から得たものなのか？ま〜何時の時代も犠牲者は「オラたつけえ〜？」の私達みだいた。(この時代の富国強兵は民衆も本心から支持した様であるが)日清戦争が終わり次にやってくる日露戦争に備えての財源確保をどうするか。その一部として本来非課税であった自家酒造に求めたのである。

そうなのだ!!!本来ドブロクは我々民衆の古来からの文化だったのだ。まったく別に誰にも迷惑かけねえのに、造ってもえっかんべな!!!そうです、皆さんおおいに人類の永遠の食文化の根源とでも云うべき神秘的な「醗酵」を体験しましょう。

ここで注意しなければならない事は、『アルコール1パーセント未満はアルコール飲料ではない』ちゅう事を念頭に置いてください。米を醗酵させ濁酒を

造っても1パーセント未満なら違法にはならないのです。よって我々が造る濁酒はドブロクではなく甘酒です。ただ、この甘酒も時間の経過と共にアルコール度数が高まり、不可抗力的にお酒になってしまいます。そこを注意して下さい。これさえ知っていれば鬼に金棒。「いんたーねっと」で「ドブロクの造り方」と検索してください。いや〜便利ですね〜...沢山造り方が掲示されてますねえ〜!!! お勧めの造り方は。

材料：米三合、都麴1袋、水 1~1.2リットル
イースト菌 約1グラム

さて、お楽しみのお仕込みです。

お米をよく磨いで下さい。2合分の水に、お猪口1杯の日本酒を入れて3合のご飯を炊きます。蒸し米と同じ感じに炊き上がります。ここに水1リットルを入れ、人肌以下の温度を確認したら揉み解した麴を入れ、イースト菌をふりかけ、よく掻き回す。

最新の注意を払わなければならないのは、用具を煮沸すること。これを怠ってははいけません。水を少なめにするとう糖分が残り、女性向けの甘味のあるアマザケができます。(糖分が多すぎると醗酵がなかなか進みません)

数時間もすると水はお米などに吸われ無くなります。翌日、表面上の見た目は変わりませんが良く洗ったお玉で攪拌してください。プツプツ泡と共に麴と焼きたてパンの香りがホンノリと漂って、いままでに経験したことのない出合に激しい かるちゃーしょっくを受ける事間違いないでしょう!!!

後は毎日掻き混ぜながら味見をしてください。日々の変化にこれまた 激しい かるちゃーしょっく を受けるでしょう。最後に犯罪的な日本国の法律に強い怒りを胸に抱きつつ、このアマザケでストレスを発散しましょう!!! (軟弱至極) (中島)



行川 - 中井橋 - に集合

～ 川むしたんけん隊で

見つけたもの～

東武日光線 明神駅から長畑方面に坂を下ると行川(なめがわ)が流れています。そこから上流に向かって二つ目の橋が中井橋です。5月23日(土)、その中井橋で行われた《NPO法人なんとなくのにわ》の「川むしたんけん隊」に協力しました。

大人 子供総勢25名が参加した会は、のびのびと賑やかな時間を過ごすことができました。昨年は2回とも雨で中止になってしまいましたが、今年は天候に恵まれ、水温18度(気温24度)水量もほどほどで、絶好の活動日となりました。今回、特に注目したのは見つけた生き物の種類がたいへん多かったことです。参加者が多いと探せる数も格段に増えていきます。ヤマトシジミ、オオヤマカワゲラ(幼虫・上写真)、コヤマトンボ(幼虫)、サワガニが今回初めて見つかりました。

2年前もお子さんと一緒に参加してくれたお母さんが、「川に入るのは家族だけだとしても狭い範囲になり、子供も我がままを言ったりするが、大勢の仲間が一緒だと子供も安心し、皆の真似をしているうちに虫を手で触れるようになった。親も子ものびのびできる。大勢で体験したことはきっといつまでも心に残っていくはずで、一つでも多くこのような体験をさせてあげたい」と言っていたのは私たちスタッフにとつてたいへん嬉しいことでした。

こんな身近なところでたくさんの生き物と出会えるのです。次回は小学校3、4年生にもぜひ参加して欲しいと思っています。中井橋でまた会いましょう。

指標生物の集計

下記の通り、中井橋周辺はきれいな水質とわかりました。

きれいな水に棲む生き物:オオヤマカワゲラ・サワガニ

ヒラタカゲロウ・ヘビトンボ

少しきたない水に棲む生き物:カワニナ・コオニヤンマ・ヤマトシジミ

きたない水に棲む生き物: ヒル

ほかに、カクツツトビケラ・ヒゲナガカワトビケラ、チラカゲロウ・マダラカゲロウ・シロタニガワカゲロウ、サナエトンボ(ヤゴ)・コヤマトンボ(Ⅱ)・ルリボシヤンマ(Ⅱ)・ハグロトンボ(Ⅱ)・オニヤンマ(Ⅱ)、カワトンボ(ヤゴ、成虫)、モノアラ貝、ドジョウ・シマドジョウ・ホトケドジョウ、オタマジャクシ(ニホンアカガエル)、アブラハヤ、ウグイ、コカナダモ。

19種類の生き物が見つかりました。

(塚崎)

郵便振替口座
00140-4-535550

連絡先
〒321-1102 日光市板橋1732-1 森方
今市の水を守る市民の会
0288-27-2183 (8時～17時:森)
0288-26-3324 (17時～21時:塚崎)
<http://www.somesing.net/daiyagawa/>



編集後記

4月に総会を終え、新たな体制で歩き出すことになりました。「だいや川通信」は年2回の発行とし、今後はホームページの充実をはかることとします。

本会ホームページは更新なしで数年放置したまま。たいへん申し訳ないことになっています。とりあえず会則は改訂しましたが、他は手つかずのまま。少しずつ、新しくしていきたいと思っています。気長にお付き合いください●会が始まった9年前は、どうやって会誌を印刷していたのか、あまりはっきりした記憶がありません。あちこちの印刷機を借用していたのでしょうか。現在は「日光市民活動支援センター」の印刷設備を使うことができ、気軽にチラシや会誌の印刷ができます。一昔前を考えると、「センター」の存在は私たちの活動にとっても、大きな力になっているとあらためて感じます●この会誌編集や郵送用の封筒作成などの事務処理も、パソコンの進化でだいぶ楽になりました。情報技術も「センター」に劣らず、市民活動を後押ししてくれる存在だと思えます●次回の通信発行は年末を予定しています。投稿を歓迎します。これからも「だいや川通信」をよろしくお願いします。(T)